

2005年9月22日
北海道ガス株式会社
天然ガス自動車北海道株式会社

札幌圏で7ヶ所目の天然ガススタンドが西区発寒にオープン！

道内天然ガス自動車も、ついに1,000台を突破

北海道ガス株式会社（本社：札幌、社長：前泉洋三）ならびに天然ガス自動車北海道株式会社（本社：札幌、社長：平田匡宏）では、札幌市西区発寒に天然ガススタンド「発寒エコ・ステーション」を新たに建設し、9月27日から営業を開始することといたしました。

当スタンドは札幌鉄工団地協同組合のご協力のもと、同組合から土地を賃借して建設したものであり、運営は太平洋石油販売株式会社（本社：東京、社長：福本 慎次郎）が行います。

今年は、原油高騰を受けて車両用燃料も高値が続いていますが、とくにディーゼルトラック燃料（軽油）の高騰を背景に、運送業界を中心にあらためて天然ガス自動車への関心が高まっており、北海道内における普及台数は8月末現在で1,000台を突破するに至りました。今回、札幌市内の基幹道路の一つである下手稲通り沿いにスタンドを設けることで、ユーザーの利便性が一層高まり、札幌圏内における天然ガス自動車の普及が今後さらに進むものと期待しております。

以上

＜報道機関お問合せ先＞
北海道ガス株式会社 広報グループ
宮本・木村 TEL 011-207-2104

<ご参考>

■<発寒エコ・ステーションの概要>

(所在地) 札幌市西区発寒 14 条 12 丁目 2 番 2 号

(敷地専有面積) 326 m²

(主たる設備)	圧縮機	1 台
	蓄ガス器	450L×12 本
	ディスプレイ	マルチ型×1 機
	キュービクル	1 式

本設備は中型車 (30 m ³ 充填) について 1 時間で約 20 台の充填が可能

■<天然ガス自動車とは?>

天然ガスを燃料とした圧縮天然ガス (CNG*) 自動車。CO₂ 発生量は、ガソリン・ディーゼル車に比べて約 7 割。大気汚染の原因となる NO_x や CO、反応性 HC (非メタン炭化水素～光化学スモッグの原因) の排出量を大幅にダウンさせます。

*CNG=Compressed Natural Gas

■<天然ガス自動車普及の現状>

日本における天然ガス自動車の普及台数は、2005 年 6 月末現在で 24,684 台。北海道内では、2005 年 8 月末現在で普及台数がついに 1,000 台を超え、1,006 台となりました。

天然ガス充填所は、現在札幌圏に 6 箇所 (石狩、大谷地、24 軒、北 5 条、中央卸売市場、雁来)、旭川市に 1 箇所あり、今回の発寒エコステーションの完成によって札幌圏では 7 箇所、道内では 8 箇所となります。

■<道内における天然ガス自動車導入の沿革と現状>

北海道ガス㈱では、1995 年 5 月に北海道で初めて天然ガス自動車を導入いたしました。その後、1996 年 5 月に天然ガス自動車北海道 (株) を設立し、自治体や企業に対し、環境全の面での優位性を積極的に PR し、低公害車である天然ガス自動車の普及に積極的に取り組んでまいりました。

現在、札幌市では、塵芥車や公用車として導入しているほか、再整備計画を進めている札幌中央卸売市場においても構内運搬車の天然ガス自動車への切り替えを進めており、現在までに 650 台以上が導入されています。また、札幌市等の主催によるスポーツイベント「札幌マラソン」にも、2000 年から天然ガス自動車先導車として採用されており、市民の環境意識の啓発に一役買っています。

一方、民間では運送事業者やコンビニエンスストアの配送用のトラック、路線バス等、ディーゼル車の代替車輜としての導入が進みつつあります。今後は、2010 年までに道内都市ガス事業者が順次天然ガス転換を進めることによって天然ガス供給基盤が整うことに加え、環境意識の高まりや燃料コストの抑制といった昨今の社会ニーズを背景に、さらなる普及拡大が期待されております。